

【アゼルバイジャン経済トピック 89 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年 5 月 25 日

新型コロナからの経済活動の回復

2020 年以降、アゼルバイジャンでは世界各国と同様、新型コロナウイルス感染症により経済活動への大きな打撃を受けましたが、最近では感染状況が落ち着き、政府発表によれば、5 月以降多くの日で1日当たり新規感染者数が 10 名以下で推移し、これに合わせて、マスク着用や入国後の隔離措置などの防疫措置も大幅に緩和されています。

このような状況を受け、経済活動も急速な回復傾向にあります。GDP 伸び率は、2020 年に▲4.3%のマイナス成長、2021年に+5.6%とプラス成長に転じ、2022年3月には、前年同月比+7%を記録し、非石油・天然ガス分野においては前年同期比+10.6%と大幅な回復となりました。このうち特に新型コロナの影響を受けた接客分野で前年同期比2倍以上、交通分野で+20.6%を記録しました。なお、ロシアによるウクライナ侵攻や各国の金融引締め策等の影響もあり、IMF は 4 月時点でアゼルバイジャンの2022年の経済成長率を2.8%と予測しています。

また、国家国境庁によれば、2022年第1四半期中、24万6200人の観光客がアゼルバイジャンを訪れ、これは前年同期比2.1倍となります。アゼルバイジャンを拠点とする航空会社のアゼルバイジャン航空及び Buta 航空の国際線、国内線合わせた旅客者数についても、合計46万人以上となっており、これは 2021 年中の旅客者数の51%に相当します。

(以上)